

個別支援計画(5領域)に沿った支援課題の設定をしています♪



児童発達支援センター きりり直方

児童発達支援

～支援プログラム～



健康・生活



基本的な身辺自立(食事・着替え・排泄)を目指し、お子さまの現状を確認しながらスモールステップで支援をしていきます。また、見通しをもって主体的に生活が出来るように、理解に合わせて絵カードなどによるスケジュール提示を行います。安心して取り組めるように刺激の調整をするなどして支援をしていきます。



運動・感覚



運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。様々な感覚刺激を無理のない範囲で体験しながら、感覚の幅が広がるように感覚統合をすすめていきます。音楽療育・絵画教室の活動も取り入れています。夏はプールも行います。



認知・行動



視覚支援を適切に取り入れ、聴覚情報と合わせることで認知機能の発達を促していきます。特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に活動に取り組めるのかを模索します。《苦手なことも頑張ってみる》など課題に向かう姿勢、力がつくよう支援していきます。

言語・コミュニケーション



活動を通して『伝える・伝わる』楽しさが経験出来るように支援します。言葉以外のコミュニケーション(絵カード、ジャスチャー等)を積極的に取り入れ、コミュニケーションの向上を図っていきます。また困った時、助けて欲しい時に、適切に援助要求が出来るようにお子さんに合わせた方法を伝えていきます。



人間関係・社会性

SST(ソーシャルスキル)と言われる支援です。『順番交代・役割・ルールを守る・指示に沿った行動をする』など社会に適應する為に必要なスキルを支援します。また、『感情に気付く・対処法を考える』など気持ちのコントロールを練習します。また、ストレスが強い状態の時はお子さまのペースに合わせて関わり、ストレス発散する方法を考えます。

